

かがわ里海づくりパートナー活動報告

2025 年 6 月 12 日

香川県知事 殿

所在地 香川県高松市寿町 1 - 1 - 8
名 称 三菱電機株式会社 四国支社
代表者職・氏名 四国支社長 木ノ下英則

かがわ里海づくりパートナー登録制度実施要綱第 10 条の規定により、年間の活動状況について報告します。

主な里海づくり活動内容	参加人数
【FC 今治との共創活動(開催日:24/10/12)】 (活動内容) 今治市・桜井海岸で FC 今治の皆様にレクチャーいただきながらビーチクリーン活動を実施。一度”ごみ”として海に流れ出たものを”資源”と捉え直すところから始まる活動。 その後、清掃活動に加えて、プラゴミの中から”宝もの探し”として、「牡蠣の養殖用パイプ」「ペットボトルキャップ」「色のついたプラゴミ」を個別に回収。子供たちはきれいな石や、蟹の甲羅なども集めながらビーチクリーン活動を楽しんだ。 今治市・しまなみアースランドへ場所を移動し、海洋プラゴミを使ってキーホルダー作りを体験。 今回はあらかじめ FC 今治の方で回収し、プラゴミを細かく粉砕していただいたものを利用させていただき、製作を開始。 魚の形をしたカラフルなキーホルダー作りを参加者で体験した。 (感想) 今までは、海岸清掃で海ごみを拾い集める活動だったが、海洋プラスチックゴミがおしゃれなキーホルダーや、プラスチックトレイ、フォトフレームになっていくことを知り、参加者それぞれが、プラスチックの再生について考えさせられる時間となった。	34 名



【かがわ里海大学オーダー講座「アマモの種まき体験」(開催日:24/11/10)】

(活動内容)

交流の里おうごしの体育館にてアマモなどの「海草」、ガラモなどの「海藻」が繁殖している藻場について里海ガイドよりお話を伺いました。

アマモを見ながら、こういった形状で、どのようにして種を採取するのか話をお聞きします。種はゴマ粒みたいな小さなもので、24年6月にアマモを採取した後、王越まちづくりの会の皆さんが生きている種と死んでしまった種を一つずつ選別し、種をまいてもらえる準備をしてくださり、種を育てている間、ご苦労されたお話も伺いました。

続いて、種団子を作り、それを藻場が少なくなってしまった海岸で投げ込みを行います。小さな種が根付きやすいように水に溶ける粘土に種を入れて投げ込みます。子供たちもピンセットで一粒ずつ種を粘土にのせてお団子づくりを行いました。

昼食は、イノシシ肉で BBQ を行いました。イノシシの捕獲について、実際の罟を見せていただきながらお話を伺います。

また、王越まちづくりの会の皆さんが鯛めしも作ってくださいました。

(感想)

「アマモ」を今日初めて知りました。

子供の頃、海で泳いでいた時に海草が邪魔だなあ～と思った事がありましたが、海にとってはとても大事なものだだったという事を今日、知る事が出来て良かったです。

今日、種団子を投げ込んだアマモがどのように育っていくのかまた見てみたいと思いました。といった感想が寄せられました。

38
名



【サンポート高松・中央通り等一斉清掃】 毎月第一木曜日 AM8:00～8:20 中央通り一斉清掃に参加。入居ビル周辺の歩道、公園などを中心に清掃活動を実施。	10 名 / 月
【愛媛・愛ビーチ活動／徳島・OUR ポートアドプト事業清掃活動】 四国内当社拠点（愛媛・徳島）でも定期的に地元の清掃活動に参加	5 ～ 10 名